TOPICS

市民医療講座を動画配信しました

コロナ禍の状況にて以前のよう会場にお集まりいた だき、市民医療講座を開催することは困難な日々が 続いております。そのため今回も動画配信という形で 講座を開催いたしました。

2021年8月26日(木)にYouTube公開したテーマは、 「コロナ禍におけるこどもの健康づくり」です。自由に 外へ遊びに行けない、体を動かす機会が減っている こどもたちの心身に及ぼす影響について、小児科・ 感染症科部長の羽田医師よりお話をさせていた だいております。ぜひご視聴ください。







QUESTIONNAIRE

読者アンケート募集!

この度、患者の皆さま向け広報誌は「きたの広報」として生まれ変わりました。 もっともっと北野病院を皆さまに知っていただけるようご紹介してまいります。 また今号より、読者の方からのご意見・ご感想を募集いたします。 で意見・で感想は、QRコード*を読み取りいただき、アンケートフォームより

送信してください。皆さまの"知りたい!"にお応えできるよう精進いたします。

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



寄附者一覧(2021年7月~8月)

[法人] 共英製鋼株式会社 様 株式会社フジオフードグループ本社 様 株式会社安藤忠雄建築研究所 様 匿名:7社様 [個人] 中川 かず子 様 松本 勝治 様 匿名:7名様



公式Twitterをご覧ください

お気軽にフォローしてください。 https://twitter.com/kitano koho





公式Facebookをご覧ください

携帯電話やスマートフォンから カンタンにアクセスいただけます。





〒530-8480 大阪市北区扇町 2-4-20 [TEL] 06-6312-1221 [初診外来受付時間]8:45~11:30 [休診日]第2·4土曜、日曜、祝日、年末年始 ※診療科によって異なる場合もありますので、ホームページの外来受診のご案内をご確認ください。

バックナンバーも ご覧いただけます





VOL.01



PRIDE OF ONE TEAM

[戸田] 北野病院は、もともと脳神経内科と脳神経外科が協力し合って高いレベルの治療を提供してきた素晴らしい伝統があります。優秀な専門医が多くそろうなか、そこに加わる形で、私が2020年7月に、高橋先生が2021年4月に移って新体制となりました。同時に「ふるえ」の治療に画期的な効果をもたらす最新鋭のMRガイド下集束超音波治療装置(MRgFUS)も導入され、ほかの最新機器と併せて設備面においても、多様な患者さんにより良い治療を充実してお届けできるようになりました。

[高橋] 戸田先生は、北米の学会からも招待講演を 依頼されるほど機能外科の領域では世界的な権威 ですから、私は心強い仲間を得たと大変喜んで いますよ。

[戸田] また、そんな。髙橋先生こそ、運動障害疾患の学会において理事をお務めで、幅広く脳神経内科の疾患全般を診ることのできる、日本が誇るオールラウンダーではないですか。

[高橋]いやいや持ち上げ合戦はこの辺にしておくとして(笑)。FUSについては、メスを入れることなくふるえが治せると、昨今増えているパーキンソン病の患者さんにも喜ばれています。パーキンソン病は、世界的にもパンデミックと呼ばれるほど増加しており、この傾向はさらに拡大すると予想されます。それだけに治療法の拡充は必須です。薬物療法が基本ですが、加えて当院では、FUS、脳深部刺激術、胃瘻を造設してゲル化したレボドパ・カルビドパ製剤を持続的に精密ポンプ

戸田 弘紀

· 外科

の

ウ

ム医療で

つ安全な医療を

作良



で空腸に注入する治療(LCIG)、手術による治療(破壊術)が提供できます。これらすべてを使った治療が可能なのは、全国でも当院だけです。神経疾患は、これさえあれば完璧という治療法がないだけに、患者さんにとってもさまざまな選択肢があるのは心強いことでしょう。

[戸田] 脳卒中などの緊急を要する疾患についても、 内科と外科がワンチームで治療にあたることで、 命に関わる危機にもスピーディーに対応できて いるのは「神経センター」の強みです。

[高橋] 脳卒中は時間との勝負ですからね。そもそも神経系の疾患は内科・外科で共通する病気が多い上に、血液検査や画像検査のみでは正確な診断がつきにくい側面があります。その点、当院ではすぐに外科の先生にお願いして、病変組織を直接とって精緻に調べてもらうことが可能です。これによって迅速かつ確実に診断がつき、すみやかに適切な治療につなぐことができています。診療科が分かれていると、どうしてもこの連携に時間がかかり、その間に合併症を引き起こしたり、麻痺がひどくなることがありますから。

[戸田] 安心して治療を任せていただける環境は そろっているので、あとは、より多くの患者さんに 「神経疾患なら、北野病院」と認知していただき たいですね。

[高橋] 地域の先生方との連携も密接にとって、 一人でも多くの患者さんのお役に立てるように 走り続けていきましょう。



北野病院では、脳神経内科と脳神経外科が一体となり 「神経センター」としてワンチームで 高度な医療を行っています。 患者さんのために協働する最前線をご紹介します。



専門医による最新治療で実績をあげる

脳神経外科は1962年の開設以来、脳腫瘍、脳卒中、脳血管障害、外傷、脊椎・脊髄疾患、また、三叉神経痛や顔面けいれん、振戦、水頭症などさまざまな神経疾患の治療に成果をあげています。特に脳腫瘍と顔面けいれん、三叉神経痛、振戦、パーキンソン病の外科治療は、本邦でも有数の治療実績を誇り、さらに脳血管障害や脊椎・脊髄疾患に対しても高い治療水準を保っています。こうした高度な治療を支えているのは、脊髄や脳腫瘍など各神経疾患でとにそろう脳神経外科のスペシャリストたちです。北野病院の技術を次世代に継承していくべく、若い医師への教育にも力を注いでいます。

解決法を見つけ、希望を見出せる医療を

脳神経内科と一体になることで、手術のアプローチも進化しています。例えば、脳腫瘍の治療にも遺伝子診断を取り入れ、遺伝的に効く抗がん剤の投与と組み合わせるなど、

集学的治療が進んでいます。今後は、心臓血管外科と脳神経外科の両方で使えるハイブリッド集中治療室の開設も予定しており、血管疾患の治療においても、磐石の体制を敷いていきます。一生懸命に治療を受けて、がんばっておられる患者さんに、水準の高い医療をお届けするのが我々の本分です。他院で治療が難しいと言われた病態であっても、何か解決法を見つけて患者さんに希望を見出していただける医療を実践してまいります。 (戸田 弘紀)



全身に及ぶ疾患を扱う脳神経内科

脳神経内科で扱う病気は、裾野が非常に広いという特徴があります。脳卒中、てんかん、多発性硬化症などの神経感染症から、意識障害などの神経救急疾患、パーキンソン病、認知症などの神経変性疾患、さらに中枢から末梢神経、自律神経、筋ジストロフィーなどの筋肉の難病まで、全身に及ぶ疾患を扱います。多岐にわたる神経疾患を正確に診断し、迅速に治療・対応していくためには、脳神経内科学の正しい知識と経験、技術を持った専門医の存在が欠かせません。当科は、日本神経学会認定教育施設でもあり、ほぼすべての脳神経内科疾患の診療を扱うことができます。北野病院が、日本の脳神経内科臨床における最後の砦となるように、日進月歩で進化する知見を常に取り入れ、精度の高い医療の提供をめざします。

真に必要とされる医療をめざす

「神経センター」同様に、脳神経外科とワンチームで取り



組む当院の「脳卒中センター」では、24時間365日体制で包括的な脳卒中治療を実践し、地域医療にも貢献しています。いくら治療が完璧でも、患者さんを置いてけぼりにするような医療であってはならないと我々は考えます。お一人おひとりにきちんと向き合い、生活背景や希望なども加味した上で、その患者さんにとっての最善の医療を追求する。それでこそ、信頼され、心から満足していただける、真に必要とされる医療につながると思っています。 (髙橋 牧郎)

かんごホットToday



看護部の目線でホットな 医療情報をお届けするコーナーです



2021年3月よりFUS(MRガイド下集束超音波治療)が開始されました



FUSの効果を一緒に実感

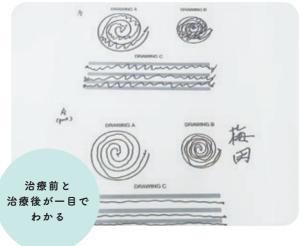
新しい治療が始まるということで、低侵襲治療センターと病棟の関係者と準備を重ねてきました。 治療を行うFUS室に向かうには、病棟から10分ほどかかります。

当院で初回のFUS

「緊張しますね」とお話をしながら、ご案内しました。 病院関係者一同、緊張の一日でしたが、私たち以上 に患者さんの緊張と治療への期待が伝わってき ました。

治療終了が近づき、「無事治療が終わる」との連絡が入り、ホッと安心しました。治療を終えた患者さんが、治療の効果を確認する作業をしており、震えて書くことができなかった線が、ほぼ真っすぐに書けていました。患者さんの喜ぶ笑顔を見て、私たちもうれしくなり、治療の効果をすぐに一緒に実感することができました。なかなか治療の効果をすぐに実感する機会のない病棟では、「FUSの効果はすごいね」と話をしていました。当院でのFUSが始まって半年が経ち、FUSを希望される患者さんが増えています。安心して治療が受けられるよう知識と技術を深めていきたいと思います。





FUSとは

最新の「切らない手術」で安全な方法です。超音波を用いるだけで、メスで切る、骨に穴を開けるといった手術操作が不要であり、「脳深部刺激療法」で用いるペースメーカー型の機械を埋め込む必要もありません。「集束超音波治療」は、頭を装置に固定した状態でMRI検査室に入り、脳の一部に超音波を集中させて、効果と安全性を確認しながら「ふるえ」を抑える、という画期的な治療法です。



VOL.

健康のヒント

あれてれ

管理栄養士だから知っ

食べ方のワンポイントなど、食べ方のワンポイントなど、

建東青報や豆知識、

朝活で脳を刺激!朝日と朝食で体内時計をリセット

人は健康な体のめぐりを維持するため、体内時計を24時間に合わせ、 光と食事の刺激でリセットする機能を持っています。そして「何を どれだけ食べるか」に「いつ食べるか」という「時間栄養学」の考え を加えることで、体内時計をコントロールできることがわかって きました。体内時計の中で最も正確なのが脳の主時計で、毎朝 朝日でリセット(時計合わせ)し、時刻情報を末梢時計に送ります。 末梢時計のひとつである内臓は、朝食でリセットしているのです。



体内時計をリセットする朝食メニューは?

体内時計をリセットする朝食には、炭水化物(ご飯、パンなど)とたんぱく質(肉、魚、卵、大豆製品、乳製品)を組み合わせる必要があります。最近は、糖質制限がブームになり、制限しなくてよい人までもが、ご飯やパンを減らしていることを見かけますが、体内時計のリセットには得策とはいえないでしょう。



あなたは朝型?夜型?

体内時計の朝型夜型のタイプのことをクロノタイプといいます。不規則な生活は、体内時計を狂わせ健康に悪影響を及ぼします。たとえば、交代制勤務や平日と休日の生活リズムが違うと、「社会的時差ボケ」が生じ、心身の不調が起こりやすくなります。朝食は体内時計を早め、朝型に近づける効果があるので、生活リズムを規則正しくするのに効果的です。クロノタイプは年齢を重ねるごとに、朝型へ変化していくため、だんだんと早起きになるようです。

※クロノタイプは睡眠医療プラットフォーム(国立精神・神経医療研究センター): https://sleepmed.jp/platform/のホームページで調べることができます。

朝日と朝食で脳を刺激する朝活で、体内時計を

栄養部 管理栄養士 髙山 祐美

[参考文献] 田原優. 体内時計から考える健康科学、食と医療、2020; 12: 10-17. 小田 裕昭、中島 俊介、肝臓と時間栄養学、食と医療、2020; 12: 18-24. 永井 成美. 体内時計から考える健康科学、食と医療、2020; 12: 18-24. 永井 成美. 体内時計からみた 朝食の役割. 臨床栄養、2020; 136 (3): 305-312.